

2017 1st Asian Rowing Coastal Championships 参加報告

神奈川県ボート協会 (FISA Umpire 隈元幸治)

1 はじめに

12月15日～17日に中国・深センで開催されました、2017 1st Asian Rowing Coastal Championships に参加しました。

本大会は、ARF が 2017 年から開催する、アジアで初めての Coastal Rowing Events です。今年3月に ARF 内に、Coastal Rowing Committee が設置され、昨年10月には、ベトナム・ダナンで開催された、Asian Beach Games でも、Beach Rowing Sprint のレースが行われるなど、Coastal Rowing が Asia で急速に普及が進んでいます。

また、10月には、フランス・トノンで開催された 2017 World Rowing Coastal Championships には、日本から初めて、今泉さんと原口さんの2名が参加されました。

私も ARF の Coastal Rowing Committee Member の一人として、Coastal Rowing の日本での普及に向けて、本大会の開催概要を報告させていただきます。

2 大会概要

(1) 大会名 2017 Asian Rowing Coastal Championships

(2) 会場 中国・深セン市

Shenzhen DaMeiSha International Water Sports Center

(3) スケジュール

12月13日 Course Open

14日 Team Managers Meeting & Draw

15日 Qualification (Time Trial)

16日 Heats, Semi-Finals, Final B

17日 Final A, Medal Ceremony, Nations Dinner

(4) 種目

Men 3種目：CM1×、CM2×、CM4×+

Women 3種目：CW1×、CW2×、CW4×+

(5) 参加国 10か国 38艇

CHN、KOR、PHI、THA、MDV、SGP、HKG、INA、SRI、TPE

(6) FISA UMPIRE

Umpire Name	Nation	Licence No.
Bing LIANG (POJ)	CHN	1503
Rucong HUANG	CHN	1461
See Hung NG	HKG	1369
Koji KUMAMOTO	JPN	1371
Kyunghwan HAN	KOR	1632
Raihan OMAR	SGP	1555



3 レースコース及び設備

Coastal Rowingには、2つのレースフォーマットがあり、沿岸を3～6 km漕ぐレースと今回実施された約500 m程度のコースを漕ぎ、砂浜を走ってスタート・フィニッシュするビーチローイングスプリントのレースがあります。

本大会は、ビーチローイングスプリントのフォーマットで実施されました。

コースは、3つのセクションで構成されます。(コース図参照)

- ①第1セクション (run) : 水際線に置かれた艇から約30～50m離れた位置のスタートラインから、一人のランナーが艇まで走る。
- ②第2セクション (row slalom→straight) : 水上に設置された3つのブイを指定された方向から転回して、漕ぐ。
- ③第3セクション (run) : 第2セクションを漕ぎ終わり、一人のクルーが艇から降りて、コース上の指定された旗の外側を回り、走ってフィニッシュラインを通過する。

いずれのレースフォーマットを実施するための規則等については、FISA HP (World Rowing) にアップされていますので、ご参照ください。

FISA RULE BOOK

APPENDIX 22 Coastal Rowing Competition Regulations

APPENDIX 23 Beach Rowing Sprints Regulations



スタート・フィニッシュ



スタート信号装置



スタート信号操作盤



タイム表示ディスプレイ



判定・線審用台座



レース主審用台座



タイム計測センサー



C 1 × (solo) 艇



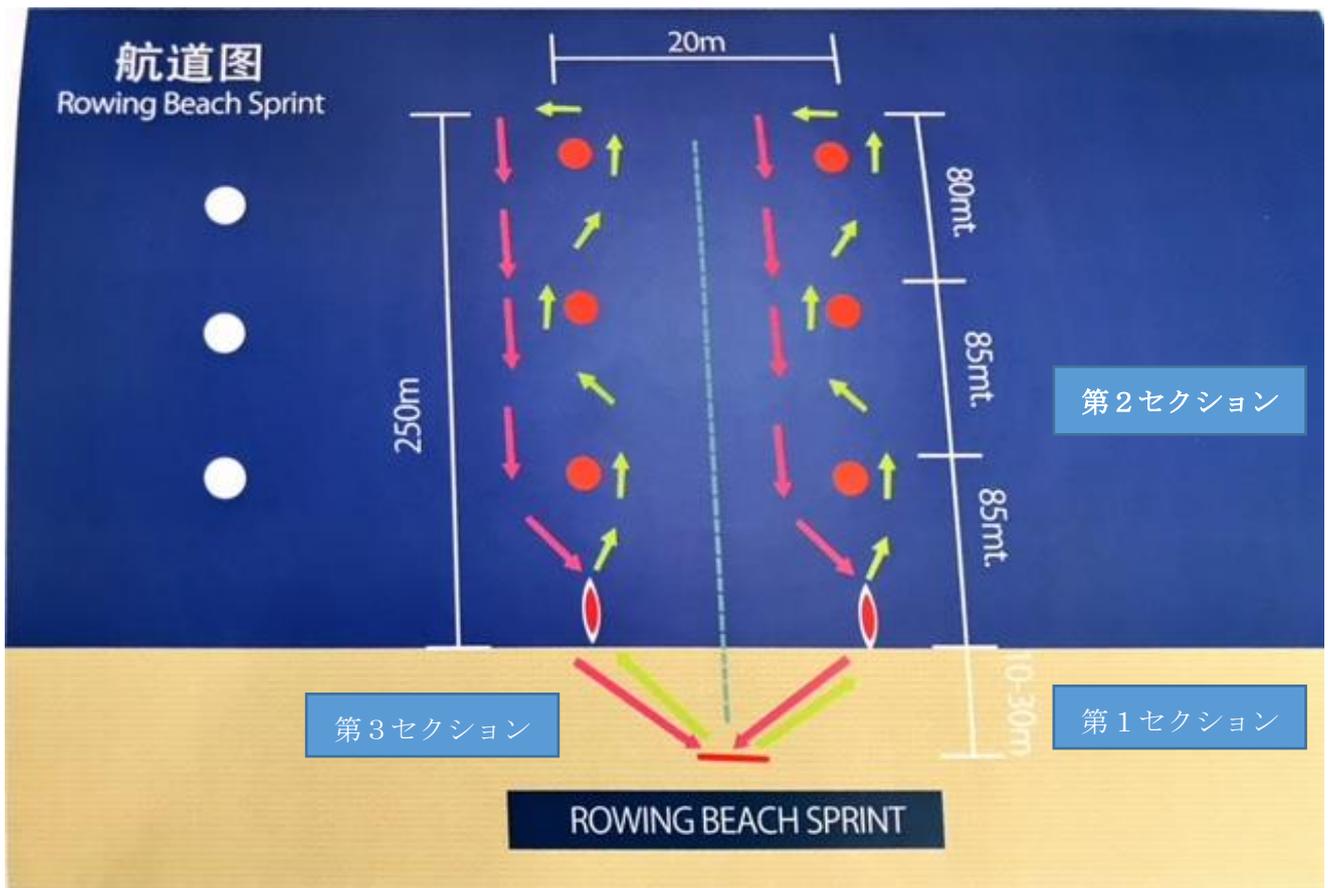
C 2 × 艇



C 4 × + 艇



会場レイアウト



コース図

4 レースの手順

(1) スタートの手順

時刻	スターターの動作・号令	クルーの状態
3分前	3 minutes	ランナー スタート位置待機
1分前	1 minute	〃
30秒前	Get Ready *	〃
↓	<ul style="list-style-type: none"> • Attention →Red Light Clear pause • Green Light+Audio Signal 	ランナー スタート クルーメンバー乗艇 (1×以外)

*スターターは、以降、いつでもスタートできる

(2) Boat Handler

スタート号令までに、水際線もしくは砂浜に置かれたレース艇を保持する役割のボートハンドラーが配置される。

最低2名、最大4名で、ハンドラーはチームから出すことになるが、不足する時には、OCで用意した人を配置することができる。

ハンドラーは、号令後、クルーメンバーが乗艇したあと、艇を押し出すことも認

められる。なお、安全上の観点から、ハンドラーは肩より深い水域には入ってならない。

また、水上に出艇したクルーに対して、コーチは、腕を使用して艇の進行方向を指示することができる。

(3) False Start

- ・スタート号令前に、スタートラインをランナーが横切ったとき
- ・スタート号令前に、クルーメンバーが艇に乗艇したとき

クルーに、Yellow Card のペナルティーが与えられ、2回 False Start をした場合には、Red Card (Exclusion) が与えられる。

(4) フィニッシュの手順

スラローム、ストレートバックのローイングを終えて、ビーチに到着したクルーの一人がランナーとして、砂浜に設置された指定の旗の外側を回り、フィニッシュラインに到達した時点がフィニッシュとなり、センサーによりタイムが自動的に計測される。

なお、ランナーは、クルーメンバーのだれでも良いが、タイム計測の関係から、複数のメンバーがフィニッシュすることはできない。

(5) ペナルティー

- ・コース上に設置されたブイ（第1ブイ、第2ブイ）は、指定された方向から転回しなければならない。これに違反したクルーには、30秒のタイムペナルティが科される。
- ・コースの最遠端ブイを指定された方向から転回しなかった場合には、60秒のタイムペナルティが科される。
- ・レース中、他艇を妨害した場合には、5秒のタイムペナルティが科される。

ただし、重大な妨害の場合には、exclusionとなる。

これらのタイムペナルティは、レース審判、ターニングマーク審判

から判定に報告されて、レースタイムに加算され、正式タイムとなる。

5 レースの勝ち上がり方式

エントリー数に応じて、勝ち上がり方式が定められています。なお、8艇を超えるエントリーがあった場合には、タイムトライアル形式で、8艇までに絞りこみが行われ、8艇に絞りこまれたクルーにより、予選・準決勝・決勝が行われました。

なお、予選の組み合わせは、タイムトライアルの結果により、組み合わせが決定されます。また、各レースのレーンは、その前のレースでタイムが良いクルーに選択権があり、スタート10分前に通告することになっています。選択権利を行使しない場合には、OCが設定したレーンとなります。

6 担当審判業務

審判部署は、監視、判定兼線審、レース審判（各レーンに1名ずつ、2名）、ターニングマーク審判、発艇（審判長兼務）の6部署。

私は、1日目：ターニングマーク主審、2日目：レース主審、3日目：判定兼線審を担当しました。

7 レースの状況

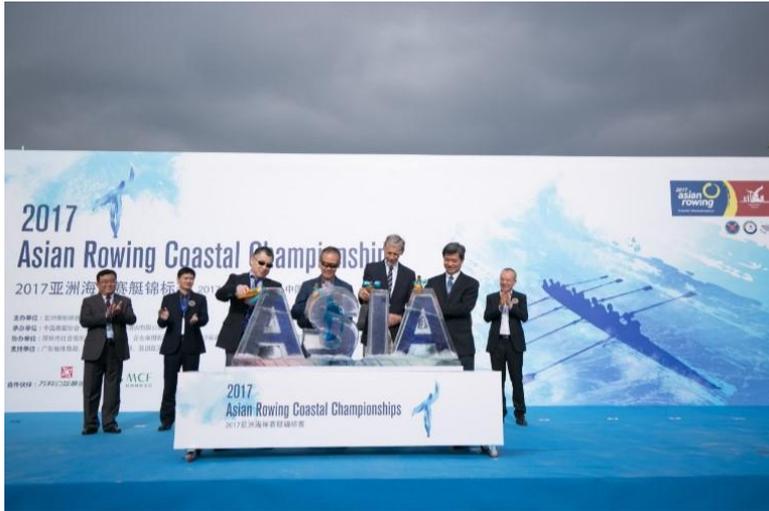
レースは、タイムトライアル以降、予選・準決勝・決勝と、2艇によるマッチレース形式で行われます。

決勝のレースでは、第1・2セクションでは、ほとんど、差がなく、第3セクションのRunで勝敗が決まるなど、大変、エキサイティングなレースが展開されました。

特に、レースでは、第1セクションでの乗艇の際の波の影響、第2セクションでは指定された方法でブイを転回することが難しく、最終ブイの転回テクニックや艇が水上から陸に到達する際に、波の影響でコースから大きく流されるクルーもあり、コース取りが大変、重要な要素になります。

これらの勝敗を決定する要素を、日頃からのトレーニングにより習熟していた、タイチームの活躍が光り、6種目中、4種目で優勝しました。





8 終わりに

今回、アジアで初めてのビーチローイングスプリントの選手権が開催され、成功裏に終了しました。

ワン・シーARF会長は、コースタルローイングのアジアでの普及・拡大に大変、力を入れており、中国は、今回の会場を2018 World Rowing Coastal Championshipsの候補地として、立候補しています。

また、2019 World Rowing Coastal Championshipsはお隣の香港で開催されることが決定しています。

そのテストイベントとして、2019 Asian Rowing Coastal Championshipsは香港で開催されます。

このように、コースタルローイングが、アジアで普及・拡大する中で、日本では、まだ、コースタルローイングは未知の領域です。

私自身、ARFのCoastal Rowing Committeeのメンバーとして、今回の大会での経験等を踏まえて、JARA普及委員会と連携して、情報発信と日本での普及に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、本大会に審判として派遣して下さった日本ボート協会の関係者の皆様に感謝します。